



研修では役席者や渉外係など融資実務に関わる職員らが真剣に耳を傾けた（1月30日、本店）

職員向け研修開催

事業性評価を徹底
吉備信金

【広島】吉備信用金庫（岡山県、清水宏之理事長）は1月30日、

本店で第2回「顧客本位の地域金融」持続可能なビジネスモデルの構築に向けて」研修を開催した。営業店の役席者や渉外担当者など40人が出席。企業に対する「本業支援」や事業性評価の趣旨を徹底した。

研修は、2018年5月の役員、部長長向けに次ぐ2回目。日本動産鑑定会長で金融庁参与の森俊彦氏を講師に招いた。資料を基に金融行政の動向や事業性評価の趣旨を説明。「ローカルベンチャー」活用など具体的な

悩みに寄り添い、伴走することで顧客の笑顔と企業の営業キャッシュフローが増える。事業性評価の取り組みを西日本豪雨災害からの復興にも役立ててほしい」と話した。